

LAPタイムが取れない場合の確認事項

2007年8月10日
パーカル株式会社

- ・ LAPタイムが取れない場合、パラメータの設定が適切でない場合がほとんどです。以下の事項を再度確認お願いいたします。パラメータ設定や取付などを確認しても取れない場合は、別途お問い合わせ下さい。

パラメータ設定の確認

＜本体をパラメータ設定画面にするには＞

本体の電源を入れ、ディスプレイ上に [READY] が表示されていることを確認してください。[READY] が表示されていない場合は、CLEAR キーを押して表示させます。SHIFT キーと MODE キーを同時に3秒押すとパラメータ設定画面になります。ディスプレイ右下に、パラメータ No. が表示されます。MODE キーを押して、設定するパラメータを選択します。

① LAP計測設定

＜Lite-10 All＞ **パラメータ No. 1** → コースの埋設磁気数を入力する。

※ 高感度OPTセンサで計測する場合は、“1”を入力する。

＜Lite-10 All 以外＞ **パラメータ No. 15** ↓

磁気がコースに 1箇所の場合 ch-. 1

2箇所の場合 ch-. 2

3箇所の場合 ch-. 3

※ 高感度OPTセンサで計測する場合は、“ch-. 1”を設定する。

② センサーオフタイマー設定: 1個目の磁気を通過後、設定した時間だけセンサ機能を停止します。

＜Lite-10 All＞ **パラメータ No. 2** → SET キーを押して数値を設定します。以下 <Lite-10 All 以外> に同じ。

＜Lite-10 All 以外＞ **パラメータ No. 1 のセカンドコマンド** ↓

パラメータ No. 1 の画面で、SHIFT キーを3秒押します。SET キーを押して数値を設定します。通常は初期値 [0 : 01] (= 1秒) のままで走行してください。2個目や3個目の磁気を無視したい(区間割りを無効にする)場合などに設定します。

※ [0 : 00] (= 10分) の設定をしないで下さい。LAPタイムが計測できなくなります。

③ **ロギングオートオフ設定**（計測の自動終了です。電源の自動OFFではありません）

<Lite-10 All> ※ この機能はありません。

<Lite-10 All 以外> **パラメータNo. 18** ↓

SHIFT キーと SET キーを使用して設定します。通常は、初期値 [0 : 00](=10分), [0 km/h]のままで走行してください。

※ LAPタイムより短い時間を設定しないで下さい。LAPタイムが計測できなくなります。

※ 走行終了後、必ずCLEAR キーを押して、計測を終了させてください。無効なデータがロギングされ、有効なロギングデータが消えてしまう場合があります。

その他の確認事項

① 走行中のデータ表示項目が SEC になっているかどうかを確認する

- ・ SET キーを押していくと、ディスプレイ右側真ん中あたりに、SEC、V、G、rpm などの小さいアルファベットの文字が順番に点滅します。SEC を点滅させて、CLEAR キーを押します。これでタイムカウントが表示されます。

② 磁気センサが断線・破損していないかどうかを確認する

- ・ 上記の方法で、現在の表示をタイムカウントにします。磁気センサに、磁石あるいは磁気を帯びたもの（ドライバーの先など）を近づけます。磁気に反応してラップタイムをきざむようなら、センサは正常と考えられます。

③ 磁気センサの取付・地面からの距離などを確認する

- ・ 点火コイルやプラグコードなどの磁気を発生するものからは、できるだけ遠ざけて下さい。
- ・ センサが鉄部へ直接接触するように取り付けられますと計測不良を起こす原因となりますので鉄部への取り付けにはゴムパッキンなどをセンサとの間にはさんで対応してください。カートでご利用のお客様は、フレームが磁化している場合がありますので特に注意してください。

<05212: カート用磁気センサ> (灰色)

- ・ センサ先端が進行方向に向き、センサ下側(平らな方)が地面に向くように取り付ける。地面から約8cm以内の所に取り付ける。

<05213: 2輪・4輪用高感度磁気センサ> (濃い灰色)

- ・ センサ先端が進行方向に向き、センサ下側(平らな方)が地面に向くように取り付ける。又は、セ

ンサ上側が地面に向いてもよい。地面から約15cm以内の所に取り付ける。

※ 但し、2007年3月以前に出荷された高感度磁気センサは、取付方向が違います。その場合は、センサ先端が地面に向くように取り付けてください。

④ ケーブルの取り回しなどを確認する

- ・ ラップタイム用センサが、エンジン回転数検出用のパルスリードと接触・結束されていないかどうかを確認してください。一度パルスリードを車体から取り外してラップを計測し、正確に取れているようなら、パルスリードからのノイズがラップタイム用センサに影響している可能性があります。